

団体名	ちはさく
エリア	佐倉市
事業内容	親子のコミュニケーションを円滑にする「伝わる子育て練習講座」の開催 地域への普及を図るため講師養成講座と勉強会
助成金の使途	講師の交通費・宿泊費 19,000 円 講師料(伊藤徳馬氏) 140,000 円 事務用品 60,500 円 通信運搬費 zoom 使用料 23,500 円 会議費 10,000 円 託児ボランティア謝礼金 13,000 円 計 243,000 円
訪問レポート	【目的】 親子関係を円滑にする「伝わる子育て練習講座」を普及させることで子どもの自尊感情を育て、親も子も「ゆとりのある人間関係」を築くこと。 【実現したいこと】 本講座の特徴は、「簡単な子育て講座」であり専門的な知識や技術は必要ないことである。 誰でも簡単に習得できるため、子育て世代だけでなく、地域の子育て支援者に普及させていくことで 思わず出てしまう言葉(赤カード)、前向きな言葉(青カード)で表すことで そのツール(赤カード、青カード)を使って子育てについて語り合うことが出来るようになり、『ちはさくカード』が地域の子育ての共通言語になることを目指したい。 【ちはさく講師養成講座】 令和7年7月26日(土)、27日(日) 2日間 全日9:30~17:00 志津市民プラザ 4F 大会議室 【受講対象者】 子育て支援事業に携わっている方 定員 30 名 参加費 500 円 講師：伊藤徳馬氏(神奈川県茅ヶ崎市福祉政策課) この2日間では資格取得をするためではなく、『ちはさく』を実施するために必要な基礎知識やノウハウを身につける講座です。 講座の始めに生活クラブのエッコー福祉基金から助成されていることについてお話がありました。 参加人数は1日目25人、2日目24人。参加者からは質問も多くでていて興味関心の高さが窺えました。 児童福祉施設のかたや保育士、幼稚園教諭など、子育てに関わる方が主な参加者でした。 実践練習としてロープレをし、前向きな養育行動に切り替えられるようにスイッチする練習をしていました。 基本的な養育行動の一部を「楽しく適当に練習して身につける」だけの簡単講座ということで、ロープレではみなさん和気あいあいとした雰囲気がありました。 頭ではわかっているのに、ついつい子どもに怒鳴ってしまう→後悔→また怒鳴る→後悔といった無限ループにはまり自己嫌悪に陥ってしまう方、多いと思います。

8つの「前向きな養育行動」と、8つの「思わずしてしまうまずい養育行動」を対比しながら、動的な練習(ロープレ)を行うことで応用も身に付き、少しずつできるようになっていきます。

家庭も含め、たくさんの現場で浸透すれば育児も人間関係も楽になるそんな講座でした。

たすけあい委員 竹原 久美子

